

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	383 母子健康診査事業									
予算科目	01-040103-11 母子健康診査に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約						係名	母子保健係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン					事業期間	毎年度			
根拠法令等	母子保健法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	妊産婦及び乳幼児
目的	疾病や心身の異常の早期発見及び育児支援
概要 (取組内容)	妊婦の健康管理及び疾病の早期発見、早期治療ができるように、妊婦健診受診券を交付する。経済的負担の軽減、必要な支援につなげるため、低所得妊婦の初回産科受診料の助成を行う。 産後うつや早期発見など産後の初期の段階における母子支援を強化するため、産婦健診受診券を交付する。児の聴覚障害の早期発見のため、新生児聴覚検査の受診券を交付し助成を行う。 乳児の健康管理の向上を図るとともに、育児不安の軽減のために、1か月児及び乳児前期・後期に医療機関での健康診査受診券を交付する。幼児の健康管理の向上を図るため、対象者に個別通知を行い、集団での1歳6か月及び3歳健診、医療機関での1歳6か月及び3歳歯科検診を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	280,967	291,672	297,909	354,064	354,064	
	決算額	(千円)	268,373	273,151	277,420	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	258,252	257,180	259,447	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	10,121	15,971	17,973	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	38,248	41,414	67,006	66,175	66,175	
	内訳	正職員従事割合	(人)	5.50	5.80	8.90	9.20	9.20
		正職員時間外勤務	(時間)	324.00	559.00	1,086.24	1,086.24	1,086.24
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、ライフプランすこやか、つくば子育てハンドブック、つくっこ子育て応援ガイドブック、つくっこ！すくすくアプリ、個人通知での周知
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	1歳6か月健診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	97.0	97.0	97.0	97.0	98.5	98.5
	実績	92.7	101.3	96.8	97.3	98.6	95.8
	指標の概要						

2	指標名	1 歳 6 か月 歯科検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	80.0	80.0	85.0	86.0	86.0
	実 績	0.0	64.9	85.1	80.9	85.7	85.9
	指標の概要	令和 2 年度から医療機関検診					
3	指標名	3 歳健診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	97.0	97.0	97.0	97.0	98.5	98.5
	実 績	90.5	100.7	95.0	98.7	97.8	95.3
	指標の概要						
4	指標名	3 歳歯科検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	58.5	76.9
	指標の概要	令和 5 年度から医療機関検診					
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		幼児健診における利用者の利便性と事業の効率化を図るため、予約システムを開始した。 幼児健診の内科医師の確保のため、新規医療機関医師に健診協力について依頼した。3 歳健診では、健診時間の短縮を図るため、全自動身長体重計を導入した。
成果		幼児健診の予約システム導入により、日程や時間を選ぶことが可能となり、より受けやすい健診体制を構築できた。全自動身長体重計の導入により、内科診察へのスムーズな案内が可能となった。 低所得の妊婦に対する初回産科受診料助成を開始し、低所得の妊婦の経済的負担の軽減を図るとともに、必要な支援に繋げることができた。
課題	業務	健診受診率の向上を図って行く必要がある。新たに 5 歳児健康診査導入に向けて、健診の内科医師の確保が難しい。幼児健診医も医師の確保が難しい状況にあるため、外部委託を検討する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		5 歳児健康診査開始に向けて、医師の確保を含めた準備を進める。1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診において、受診率の向上の対策を講じる。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	5 歳児健康診査事業を開始するため

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	389 養育医療給付事業									
予算科目	01-040103-14 養育医療給付に要する経費					担当部課 係名	こども部こども未来センター 母子保健係			
市長公約										
戦略プラン					新規・継続					
										事業分類 法定受託事務
					事業体制 一部委託					
個別計画						事業期間	毎年度			
						SDGs	03すべての人に健康と福祉を			
母子保健法										

事業の概要

対象	母子保健法第6条第6項に規定する未熟児で、医師が入院養育を必要と認めた者。
目的	未熟児に対して、生後速やかに必要な医療の給付を行い、保護者の経済的な負担を軽減する。
概要 (取組内容)	未熟児に対して出生後速やかに適切な処置を講ずる必要があることから、指定養育医療機関において、必要な医療の給付を受けることができるように、養育医療申請に対し速やかに審査等を行い給付の決定をし医療券を交付する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	9,997	10,453	13,153	11,507	11,507	
	決算額	(千円)	12,805	10,371	12,310	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,007	1,159	2,630	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,796	6,393	6,876	0	0
		その他	(千円)	4,002	2,819	2,804	0	0
人件費	人件費計	(千円)	793	691	723	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	45.50	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、ライフプランすこやか、つくば子育てハンドブック
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	養育医療券交付者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	31.0	31.0	35.0	40.0	36.0	48.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		期限内に納付がされなかった者に対しては、電話等で納付勧奨を行い、年度内に全額収納することができた。また、養育医療給付費は養育医療券の交付人数に比例せず、予算の見積もりが難しいため、年度内に適宜歳出予算執行状況を確認しながら対応した。
成果		養育医療券を交付することで、保護者の経済的負担を軽くし、児に対して必要な医療を提供することができた。
課題	業務	外国人については、日本語の納付書での納付が困難なため、期限内の納付をされない方がいる。
	組織、予算等	養育医療給付費は養育医療券の交付人数に比例せず、1人の対象者に多額の予算がかかることもあることから、予算の見積もりが難しい。
改善目標		歳出予算執行状況を確認しながら必要な予算を確保できるようにしていく。 外国人に対しては、納付書を自宅に送る前に連絡をし、自身で支払い手続きが難しいと想定される場合は、窓口に来庁を促し、納付書を直接手渡しをして支払い終えるまでサポートしていく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	405 施設入所措置事業									
予算科目	01-030201-14 要保護児童対策に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約						係名	子育て相談支援係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	法定受託事務			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	児童福祉法					SDGs	01貧困をなくそう			
							03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	妊産婦及び母子世帯									
目的	母子世帯の生活を安定させ、その自立促進を図るとともに、助産の実施により母子の健康保持と福祉の向上を図る。									
概要 (取組内容)	・生活上の問題により、子どもの養育が十分できない場合などに、子どもと一緒に施設に入所することにより保護する。 ・保健上必要があるにも関わらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦が入院して、助産を受けられるよう支援する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,824	6,174	6,174	6,174	6,174	
	決算額	(千円)	2,124	542	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	531	-676	-78	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,593	1,218	78	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	3,519	1,506	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.50	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	26.75	24.20	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	一
企画・立案、計画	一
実行	一
評価、検証	一

指標の推移

1	指標名	措置世帯数 (世帯)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1.0	1.0	1.0	4.0	3.0	2.0
	指標の概要	助産施設及び母子生活支援施設入所世帯数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		昨年度より母子生活支援施設に入所していた世帯に対して、入所施設、関係課とも情報共有し、自立による退所につなげた。また、退所後も子の所属への繋ぎや支援を行っている。
成果		母子生活支援施設に関する新規の相談は4件あった。昨年度より、入所している2世帯については、入所施設や関係課とも情報共有するとともに定期的に訪問し、自立に向けての相談支援を行った。助産施設での入院助産についての相談は5件あった。相談者の個々のケースに応じ、適切な対応を行い、母子等の経済的・精神的負担の軽減を図ることができた。
課題	業務	経済的・精神的負担を抱えている方の支援であり、関係各課・関係機関との役割分担を明確にし、継続して連携していく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		施設入所に至る前にも関係各課・関係機関とも連携し、経済的・精神的負担を軽減するとともに、施設入所後の生活の安定と向上のため事業を継続していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	412 子ども家庭支援員活動事業（旧名称：家庭相談員活動事業）									
予算科目	01-030201-14 要保護児童対策に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約						係名	子育て相談支援係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン					事業期間	毎年度			
根拠法令等	児童福祉法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	つくば市内に住所を有する18歳未満の者またはその養育者
目的	複雑・多様化する家庭児童相談にきめ細かな対応をし、支援の必要な家庭に的確な相談支援を行う。
概要 (取組内容)	こども家庭センターを設置し、子ども家庭支援員と正職員が、電話や面接、訪問等により、児童に関する様々な相談に対して助言や指導を行い、問題解決に向けて援助活動をする。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	12,494	19,513	24,096	27,668	27,668	
	決算額	(千円)	12,642	18,425	21,561	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,283	8,270	3,595	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	6,359	10,155	17,966	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,376	21,085	22,510	22,792	22,792	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	3.00	3.00	3.30	3.30
		正職員時間外勤務	(時間)	309.00	150.50	335.40	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	一
企画・立案、計画	一
実行	一
評価、検証	一

指標の推移

1	指標名	相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5,773.0	8,479.0	9,944.0	12,232.0	12,550.0	15,197.0
	指標の概要	家庭児童相談の件数					

2	指標名	ペアレントトレーニング開催日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	27.0	31.0	58.0
	指標の概要	・ペアレントトレーニング講座（集団） ・個別ペアレントトレーニング					
3	指標名	巡回発達相談の相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	111.0	101.0
	指標の概要	巡回発達相談の相談件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		こども家庭センター（こども未来センター）の設置に伴い、統括支援員を中心に児童福祉分野と母子保健分野と連携し、一体的支援体制を整えると共に関係機関との情報共有や支援へ繋いだ。
成果		市内小中学校、義務教育学校の校長向けに虐待対応の研修を児童相談所の協力のもと実施し、より早期の対応につながり、支援を行うことができた。公認心理師によるペアレントトレーニングでは、集団で行う他、子の年齢により集団では困難なケースに対し、個別でケースに応じた対応を行った。
課題	業務	年々相談件数の増加及び内容が複雑化している。相談者の周辺状況の支援も必要となるため、関係機関と連携し、支援体制をより強化していく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		複雑化、多様化している相談ニーズに対して、都度アセスメントを行い、支援方針に沿った支援を行う。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	413 子育て短期支援事業									
予算科目	01-030201-14 要保護児童対策に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約	22-2					係名	子育て相談支援係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン					事業期間	毎年度			
根拠法令等	児童福祉法、つくば市子育て短期支援事業実施要綱					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	つくば市内に住所を有する18歳未満の者であらかじめ市に登録しているもの									
目的	家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設、乳児院又は里親において一定期間養育することにより児童及び家庭の福祉の向上を図る。									
概要 (取組内容)	児童養護施設（4施設）（社）同仁会 つくば香風寮<つくば市>、（社）茨城県道心園道心園<土浦市>、（社）窓愛園 窓愛園<土浦市>、（社）筑波会 筑波愛児園<つくば市>、乳児院（2施設）（社）同仁会 さくらの森乳児院<つくば市>、日本赤十字社茨城県支部乳児院<水戸市>、上記6施設と里親4世帯と委託契約を結び、保護者の申請によりあらかじめ登録してある児童を一月あたり上限7日間まで預かる。また、平日の夜間に預かるトワイライト事業、休日の日中に預かる休日預かりを年間合計30日まで利用できる。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1, 106	869	1, 359	5, 009	5, 009	
	決算額	(千円)	341	1, 213	2, 715	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	179	407	1, 219	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	156	678	1, 496	0	0
		その他	(千円)	6	128	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6, 867	7, 042	4, 420	6, 216	6, 216	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 00	1. 00	0. 60	0. 90	0. 90
		正職員時間外勤務	(時間)	23. 00	55. 50	33. 80	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	利用述べ日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	109.0	16.0	6.0	33.0	216.0	371.0
	指標の概要	子育て支援短期養育事業利用延べ日数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		委託する里親を3世帯から4世帯に増やし、受け入れ枠を拡大した。また、子ども家庭相談を受ける中で、相談者に本事業の利用を促進する等、育児負担軽減等の支援を行った。
成果		子ども家庭相談を受ける中で、利用が必要な世帯に対し、本事業を紹介したところ、定期的に利用する方が出てきて、保護者や子どもが安定した生活を送れるようになったり、母子家庭であり、仕事で泊りの研修や出張に参加できなかった家庭が、利用することで、仕事の幅を広げることにもつながった。
課題	業務	泊りを伴うショートステイについては、利用が増加しているが、トワイライトや休日預かりについても、今後周知を図り、保護者負担の軽減を支援する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		引き続き、保護者の希望日に極力利用できるよう、委託する里親を増やし、受け入れ枠の拡大を図る。相談支援の中で関係機関等と連携し、保護者負担の軽減を図れるよう促す。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	事業の認知度向上に伴い、利用者及び利用日数が大幅に増加しているため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	414 要保護児童対策地域協議会の運営									
予算科目	01-030201-14 要保護児童対策に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約						係名	子育て相談支援係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン					事業期間	毎年度			
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	児童福祉法規定する要保護児童、要支援児童及びその保護者並びに特定妊婦
目的	関係機関等が必要な情報を共有し、支援内容に関する協議を行うことで、対象の早期発見及び適切な保護や支援を実施する。
概要 (取組内容)	関係機関の代表者からなる代表者会議、実務担当者による実務者会議、個別の事例について適時検討する個別ケース検討会議を開催する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	70	114	4,893	4,680	4,680	
	決算額	(千円)	167	142	945	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	167	142	945	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,892	10,604	8,944	10,360	10,360	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.50	1.20	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	111.00	100.25	109.60	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	会議開催数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	29.0	29.0	37.0	37.0	39.0	24.0
	指標の概要	要保護児童対策地域協議会の会議開催数 代表者会議、実務者会議、個別ケース会議					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		一時保護となった児童の家庭引き取り後の支援や、要保護児童登録ケースの転出・転入時に十分な引き継ぎを行い、支援体制を強化することができた。要保護児童等の支援管理台帳を作成し、支援方針会議等で継続・終結の判断を行った。
成果		関係機関が情報共有し役割分担を明確にし、統一した支援方針のもと、要保護児童の支援を行うことにより、問題の軽減化、課題の解決を図ることができた。
課題	業務	ケースの課題感、不安感を整理し、ケースに応じた支援計画を作成し、支援計画に沿った支援の提供を関係機関とも共有し、実施する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		ケースの課題感、不安感を明確にし、全体的なケースの状況の把握を行い、支援につなげるためにも関係機関との連携をさらに強化する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	965 つくばこどもの青い羽根事業									
予算科目	01-030201-18		つくばこどもの青い羽根事業に要する				担当部課	こども部こども未来センター		
市長公約	7-3						係名	こども未来係		
戦略プラン								新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	職員のみ	
個別計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等							SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ		

事業の概要

対象	市内外の個人、企業、団体等									
目的	つくばこどもの青い羽根基金を創設し寄附を募り、子どもの未来を支援するための事業の財源に資するため。									
概要 (取組内容)	つくばこどもの青い羽根基金に寄せられた寄附金を、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、すべての子ども達が夢と希望をもって成長していけるよう、子どもの未来支援のための事業に活用する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	797	709	1,180	765	765	
	決算額	(千円)	477	639	968	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	477	639	968	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,810	6,907	7,226	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば・ホームページ・つくスマを活用した情報発信、イベントへのPRブース出展、区会回覧による寄附金募集
企画・立案、計画	-
実行	アニュアルレポートの作成・配布による事業の成果の説明、ホームページによる実績の公表
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		広報つくば・ホームページ・つくスマを活用した情報発信、イベントへのPRブース出展、区会回覧による寄附金募集、アニュアルレポートの配布、企業への協力依頼等、様々な方法により事業の周知を行った。
成果		令和6年度は、総額15,349,235円（825件）の寄附が集まった（個人：4,478,617円（424件）、企業：6,373,302円（150件）、団体：1,373,788円（20件）、区会：3,123,528円（231件））。
課題	業務	情報発信及び広報活動等により一定の成果が見られるが、今後も寄付のご協力を継続的に依頼していくには、青い羽根基金の必要性や活用用途について、より市民等に分かりやすく周知啓発活動を実施する必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標		これまでの主な取組を継続しながら、より効果的な周知方法等の検討を行っていく。 また、寄附金を学習支援事業や学習塾代助成、居場所づくり支援事業の子どもの未来支援事業に活用すると共に、教育、福祉等、子どもの支援に必要な事業に活用できるよう検討を行う。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	130 出産・子育て応援給付金支給に要する経費									
予算科目	01-040103-15 出産・子育て応援給付金支給に要する					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約						係名	母子保健係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	市民
目的	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備する。
概要 (取組内容)	保健師等による妊産婦面談等を通して必要な支援につなげる伴走型相談支援及び出産・子育てを応援するための経済的支援として「出産応援給付金」と「子育て応援給付金」をそれぞれ5万円給付する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	332, 233	439, 873	242, 703	262, 105	262, 105	
	決算額	(千円)	18, 119	501, 603	265, 105	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2, 960	39, 750	77, 283	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15, 159	461, 853	187, 822	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	9, 226	14, 725	11, 361	11, 361	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 00	1. 00	1. 70	1. 30	1. 30
		正職員時間外勤務	(時間)	0. 00	956. 25	982. 25	982. 25	982. 25
		会計年度任用職員有無	(一) 無	有	有	有	有	

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、市報、ライフプランすこやか、個人通知等での周知
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	出産応援給付金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,400.0
	実績	0.0	0.0	0.0	273.0	5,717.0	2,125.0
	指標の概要	令和5年2月事業開始 ※当初予算上の見込者数を目標値として設定					

2	指標名	子育て応援給付金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,400.0
	実績	0.0	0.0	0.0	27.0	4,181.0	2,211.0
	指標の概要	令和5年2月事業開始 ※当初予算上の見込者数を目標値として設定					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		給付金の申請に電子申請やRPA処理を導入することで、事務負担の軽減を図った。
成果		出産応援給付金：2,125件、子育て応援給付金：2,211件の支給を行い、必要な支援等につなげる伴走型相談支援と出産・子育てを応援するための経済的支援を行った。
課題	業務	子ども・子育て支援法の改正により、令和7年度から法定給付事業となるため、対象者や申請方法等の整理を行い、支給事務を滞りなく実施できるよう準備する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		窓口での案内や事務フローに大きな変更が生じないよう、電子申請やRPAを改修し、支給事務を滞りなく実施する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	子育て世帯の流入人口増に伴い、今後も需要の高まりが見込まれる。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	035 母子保健指導に関する事業									
予算科目	01-040103-12 母子保健指導に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター			
市長公約							係名	母子保健係		
戦略プラン	Ⅲ-1	1	2	支援を必要とするこどもや家庭への支援の			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（義務）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン						事業期間	毎年度		
根拠法令等	母子保健法第9条 児童福祉法						SDGs	03すべての人に健康と福祉を		

事業の概要

対象	妊婦・産婦・乳児・幼児およびその保護者
目的	母親及び保護者、乳児又は幼児の健康の保持増進を図る。
概要 (取組内容)	妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施するため、母子健康手帳交付を始めとし、各種の健康教室、育児相談、あかちゃん訪問事業、産後ケア等を実施する。また、より支援の必要な方に対し、養育支援訪問等を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	25,644	26,210	53,884	54,549	54,549	
	決算額	(千円)	27,610	27,800	61,579	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	21,865	19,908	48,971	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,745	7,892	12,608	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	69,813	73,526	92,567	85,117	85,117	
	内訳	正職員従事割合	(人)	9.60	10.00	12.20	11.70	11.70
		正職員時間外勤務	(時間)	1,815.00	1,839.40	1,777.45	1,777.45	1,777.45
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、ライフプランすこやか、子育てハンドブック、つくっこ子育て応援ガイドブック、つくっこ！すくすくアプリ
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	母子相談延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	2,103.0	1,239.0	1,216.0	1,530.0	1,937.0	2,342.0
	指標の概要	すこやか健康相談、発達相談の件数 (他、出張子育て広場における相談179件、妊娠8か月アンケートフォロー電話相談249件あり)					

2	指標名	子育てに不安を感じたときに、対処できる親の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0
	実績	82.3	81.9	77.7	82.1	80.4	82.2
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①)こどもを安心して生み育てられる環境整備) 1歳6か月健診、3歳健診時のアンケートで育てにくさを感じた際に相談できる場所を知っていると答えた親の割合					
3	指標名	あかちゃん訪問実施率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	99.5
	実績	97.8	95.8	98.5	96.7	99.2	99.8
	指標の概要	あかちゃん訪問対象者に対して訪問を実施した率					
4	指標名	産後ケア利用者実人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	54.0	45.0	74.0	104.0	130.0	261.0
	指標の概要	利用希望者が利用するため、目標値設定はなし					
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		地区担当保健師の名刺を渡したことで、妊産婦から地区担当保健師宛に連絡があり相談対応することができた。妊娠8か月アンケートで返信のない支援が必要な妊婦に対し、メールや手紙で情報把握に努めた。
成果		妊娠届出時、妊娠期、出産から子育て期において各種相談事業、訪問事業、教育事業を実施し切れ目のない相談支援を行った。 相談希望数に応じ、相談枠や職員を増やし、相談希望者すべてに対し支援できた。
課題	業務	妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を継続し、保健師が身近な相談相手になり母自身が問題解決できるよう支援する。
	組織、予算等	発達支援に関し他課と情報共有及び連携を図る。各課の業務課題を出しあい、発達支援の方向性を検討する。
改善目標		相談件数が増加傾向にあり、実施回数・実施方法、従事職員数を見直し、相談事業の充実を図る。 相談内容を見直し、よくある質問について母子モでの情報配信を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	093 不育症治療費助成事業									
予算科目	01-040103-13		不育症治療助成に要する経費					担当部課	こども部こども未来センター	
市長公約	23						係名	母子保健係		
戦略プラン	Ⅲ-1	1	3	出産環境の整備				新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	職員のみ	
個別計画								事業期間	毎年度	
根拠法令等								SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	不育症に悩む夫婦の経済負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じた適切な治療を開始することを促進し、少子化の進展を防止する。
概要 (取組内容)	申請による助成金の交付。 不育症として、2回以上の流産・死産の既往がある場合を対象とし、保険適用外の検査費および治療費が対象となる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,000	1,018	1,005	1,005	1,005	
	決算額	(千円)	598	471	729	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	598	471	729	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	791	691	723	3,454	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.50	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、ライフプランすこやか、市報、窓口や医療機関でのチラシ設置
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	不育症検査及び治療費助成金交付人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	20.0	20.0	20.0
	実績	0.0	0.0	8.0	14.0	11.0	16.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①子どもを安心して生み育てられる環境整備)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		不育症検査及び不育症に取り組む夫婦が滞りなく申請し、経済的負担の軽減が図れるように、市報や医療機関への事業周知を行った。
成果		必要な方が申請し、不育症検査及び不育症治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。
課題	業務	不育症や不妊治療等に関する助成について、国や県の動向、市民からの要望に応じて、事業を見直していく必要がある。
	組織、予算等	年度の見込み数より、適正な予算計上を図る必要がある。
改善目標		不育症検査及び不育症治療助成に加え、医療保険適用外の先進医療について助成を検討し、不妊治療事業の対象者を拡大し、不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減していく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	医療保険適用外の先進医療助成制度について検討するため

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	220 子どもの未来支援事業									
予算科目	01-030201-17 子どもの未来支援に要する経費						担当部課	こども部こども未来センター		
市長公約	56-1		56-2				係名	こども未来係		
戦略プラン	Ⅲ-2	2	3	こどもの学習支援及び居場所支援の実施			新規・継続	継続		
	Ⅱ-2	2	2	ボランティア事業の推進			事業分類	自治事務（任意）		
	Ⅱ-2	1	3	食育事業の推進			事業体制	一部委託		
個別計画	第2期つくば市こども未来プラン						事業期間	毎年度		
根拠法令等	こども基本法、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律						SDGs	01貧困をなくそう		
								02飢餓をゼロに		

事業の概要

対象	経済的に困難を抱える世帯の子ども									
目的	安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育み、貧困の連鎖を防止する。									
概要 (取組内容)	つくばこどもの青い羽根学習会、居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）、こどもの学習塾代助成、みんなの食堂事業補助金、ボランティア登録説明会、学習支援マニュアル研修会の実施、データベースみまもり、こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	53,838	71,441	71,923	95,994	104,916	
	決算額	(千円)	54,412	66,732	72,938	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	20,414	21,924	23,719	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	20,101	29,839	32,324	0	0
		その他	(千円)	13,897	14,969	16,895	0	0
	人件費計	(千円)	20,949	21,375	12,411	18,965	18,965	
人件費	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	3.00	1.50	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間)	212.00	270.00	633.00	700.00	700.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば・ホームページ・つくスマを活用した情報発信、こども未来懇話会における意見交換
企画・立案、計画	こども未来懇話会におけるこども第2期つくば市こども未来プランの検討
実行	事業内容改善のための各種アンケート（ボランティア登録説明会参加者、学習会運営団体、学習会・居場所支援事業利用者）
評価、検証	こども未来懇話会における第2期こども未来プランの評価

指標の推移

1	指標名	学習会開設か所数				(か所)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	13.0	14.0	16.0	17.0	18.0
	実績	13.0	14.0	16.0	16.0	18.0	20.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-②魅力ある放課後の創出) 子どもの学習支援及び居場所支援の実施に係る指標（つくばこどもの青い羽根学習会）					

2	指標名	ボランティア登録会延べ参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0
	実績	80.0	53.0	50.0	102.0	94.0	103.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備) ボランティア事業の推進に係る指標					
3	指標名	みんなの食堂のべ参加人数 (補助金交付団体のみ) (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	1,100.0	2,200.0	3,300.0	4,400.0	5,500.0
	実績	125.0	2,162.0	3,300.0	4,233.0	5,265.0	6,547.0
	指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 食育の推進に係る指標					
4	指標名	学習会利用登録者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	220.0	299.0	332.0	341.0	365.0	391.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-②魅力ある放課後の創出) 子どもの学習支援及び居場所支援の実施に係る指標 (つくばこどもの青い羽根学習会) 居場所利用は別事業の名称であるため、学習会利用者登録者数に6年度から変更。					
5	指標名	(人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		広範囲に支援が行き届くよう、つくばこどもの青い羽根学習会の増設を2ヶ所行った。
成果		多様な居場所を創出し、適切な生活習慣や学習習慣を身につけるための支援を行うことにより、多様な困難を抱える世帯の子どもに対する支援を推進することができた。
課題	業務	つくばこどもの青い羽根のいえにおいては、利用登録者数が定員の上限に達しており、新たに支援の必要な子どもを受け入れることが困難な状況である。また、支援対象者を抽出する「データベースみまもり」については、データ量の制限や抽出操作の煩雑さを改善していく必要が生じている。
	組織、予算等	
改善目標		子どもが安心して過ごせるような居場所を増やしていくとともに、ボランティア募集や研修会の実施等による支援の質の向上のための取組を継続していく。また、アウトリーチ型の支援につなげるための「データベースみまもり」のシステム化の取組を継続していく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	学習会及び居場所支援事業所の増設等のため。